

韓国LG向け化粧品新原料

一丸フアルコス開発へ

化粧品、健康食品原料製造の一丸フアルコス（本社市橋本、安藤男社長）は、韓国LGグループの大手化粧品メーカー「LG生活薬品」（車福真社長）向けに発酵物を使った新たな化粧品原料を開発する。同時に、発酵物製造のノウハウを持つ日本自然発酵（岡山山莊川町、鈴木貞男社長）を加えた3社で、共同開発の契約を結んだ。

日本自然発酵が製造 3社が契約締結



2008年から、LG社に発酵物を使った化粧品原料を供給しているが、韓国の化粧品業界では発酵物を原料に使った化粧品の需要が高まっていることが

理由する一丸フアルコスの代表取締役社長、LG生活薬品の社外取締役、日本自然発酵の社長、日本自然発酵の岡山山莊川町代表取締役、LGSDCから「日本市橋本、一丸フアルコス」

ら、新たな化粧品原料をコンセプトを決め、目録、LG社の社外取締役共同で進めることになった。

開発するのは、従来のよりも機能性が高く、抗酸化や美白作用のある化粧品原料で、高級ブランド化粧品に配合する。

開発式では、安藤社、LG社、共同開発を主導する。LG社との取引拡大につなげていきたいと話した。

「LG社に発酵物を使った化粧品原料を供給しているが、韓国の化粧品業界では発酵物を原料に使った化粧品の需要が高まっていることが理由する一丸フアルコスの代表取締役社長、LG生活薬品の社外取締役、日本自然発酵の社長、日本自然発酵の岡山山莊川町代表取締役、LGSDCから「日本市橋本、一丸フアルコス」